

校訓	友 勤 自 愛 勉 治	 令和6年度 東中だより 第10号	発行日	令和6年9月2日
教育目標	新しい多様化の時代を生きる 心身ともにたくましい生徒の育成		発行者	伊丹市立東中学校 校長 前田 徳三

【2学期始業式校長講話】

みなさん、おはようございます。今年の夏も「暑いですね」があいさつになるぐらい猛暑日が続いています。まだまだ暑い日が続いていますので、熱中症対策については、保健室から出されている保健だよりなどをよく読み、十分な対策をしてください。また、突然のゲリラ豪雨や雷、台風、河川の氾濫や、校外や家庭において地震が発生した時の対応は、避難訓練などで学んだことを生かして、自分の身は自分で守ることを心掛けてください。

さて、今日はオリンピックの話をします。私はパリオリンピックで多くの感動と勇気をもらいました。みなさんはどうでしたか。

私は、かつてオリンピックでメダルを取られた方や、コーチの方々と話をする機会があり、とても印象に残った話があるのでみなさんに紹介します。その方たちが言うには、体力や技術を高めることはもちろん大切ですが、それ以上に心を鍛えることが大切だと言われました。

試合中のパフォーマンスは気持ち、心に支えられていると言うのです。では、その心をどのように鍛えるのか。それは、「挨拶をすること」「返事をする事」「履物を揃えること」の三つだと教えていただきました。兵庫の教育学者で「国民教育の師父」と言われた森信三先生の「躰の三原則」にも「あいさつ、『はい』という返事、履物揃え」を習慣化するとあります。

挨拶、返事はわかるのですが、履物を揃えるということはどういうことかと疑問でした。それは、長野県の曹洞宗円福寺の住職藤本幸邦さんの「はきものをそろえる」という詩の中に、「はきものをそろえると心もそろえ」「ぬぐときにそろえておくと、はくときに心がみだれない」という言葉があります。何気ないちょっとした行動に人の心は鍛えられると気付かされました。大谷選手が球場内のゴミを拾うということは有名な話です。オリンピックという大きな舞台に立つことは想像以上の緊張や重圧、プレッシャーがあるはずですが、日々の何気ない生活の中で、心を落ち着かせ、何があっても動じない心を鍛えることが大切だということです。



一般に、大きな努力をしなければいけないと思いがちですが、本当は当たり前のことを当たり前にすることが大切だということです。

また、今回のパリオリンピックを見て感じたことは、選手たちは①最後まで諦めない。②一瞬に人生をかけている。③緊張はあったにせよ、変な気負いがなく、試合を

楽しんでいる。④インタビューを聞いていて、まわりの方々に感謝の気持ちをもって
いると感じました。感謝の心をもつことは豊かな人間性を培い、よりよい人生の礎を
築くことにも繋がります。また、メダルを獲得した選手たちは必ず人とのつながり、
支え合う大切さを述べられていました。人間関係を大切にすることは、時代に関係な
く、変わらないものです。

P T A広報誌「ひしの実」にも書かせていただきましたが、人生の最大の財産は、
人と人とのつながり、人脈だと思います。土地や建物、現金、株なども財産に間違い
はありません。ただ、それは道具にすぎません。人とのつながり、人脈こそが真の財
産だと思います。人脈とは、名前や顔を知っている程度の知り合いや仲間ではなく、
深い信頼関係で結びついた人間関係のことです。例えば、自分が本当に困っている
ときに、「何か手助けはできないか」と、いつでもどこにいても即座に駆けつけてくれ
る友だちや仲間だと思います。このような人脈を大切に、築いてくれることを期
待しています。

最後に、2学期は多くの学校行事があります。クラスを一人のリーダーに任せて、
その後ろをみんながついていくのではなく、クラスのみんなが成長
し、協力して、みんなが力を発揮するクラスを目指してください。



クラスのみんが行事を成功させ、よいクラスを作るために大切
なことは、①当事者意識を持つ、②みんなの笑顔、③良好なコミュニケーション、④
信頼関係だと思います。何をするにしても、やっていこうという声かけができ、協力
してくれる仲間が常にいる。私もやっていこうと役割を担ってくれる仲間がいる。陰
で支えてくれる仲間がいる。そんな仲間の支えて素晴らしいクラスができます。

2学期もみなさんが毎日元気に登校し、しっかりと学び、楽しく健やかな学校生活
を過ごしてくれることを楽しみにしています。

【部活動等の表彰】(※ 団体、個人で表彰されたもののみ)

＜阪神大会＞

団体 ＜第二位＞ 男子バドミントン部

個人 ＜優 勝＞ 水泳競技(女子 200m 個人メドレー、女子 400m 個人メドレー)

＜第二位＞ 男子卓球

＜第三位＞ 男子バドミントン、陸上競技(女子 100mH)

＜東阪神大会＞ 銀賞 吹奏楽部

＜県大会＞

個人 ＜優 勝＞ 水泳競技(女子 200m 個人メドレー、女子 400m 個人メドレー)

※ なお、女子 200m 個人メドレーの記録は大会新記録



水泳競技(女子 200m 個人メドレー、女子 400m 個人メドレー)とともに、
陸上競技(女子 100mH)において、全国標準記録を突破できたため、
全国中学校大会に出場することが決まりました。